

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年															
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~2日	9月 ~9日	9月 ~16日	9月 ~23日	9月 ~30日	10月 ~7日	10月 ~14日	10月 ~21日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	27	31	35	35	32	22	33 (34)	32
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	21	19	5	6	22	19	19 (20)	13
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	3	4	2	2	2	5	3	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	1	4	7	0	8	5	1	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	4	6	2	4	2	2	0	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	1	0	0	0	1	0	1	0
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第42週(10月15日~10月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6		1	1		2	1	1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	4	重症熱性血小板減少症候群	1		1					
		日本紅斑熱	2			1				1
		レジオネラ症	1							
五類全数	18	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3					1	1	1
		梅毒	5		1			3		1
		百日咳	9	2	4			3		
		風しん	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第42週 10/15~10/21)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 梅毒

3件の報告があり、依然として報告数が多い状況が続いています。今年の累計は94件(男性61件、女性33件)となり、すでに昨年の報告数(62件)を大幅に上回っています。

2. 風しん

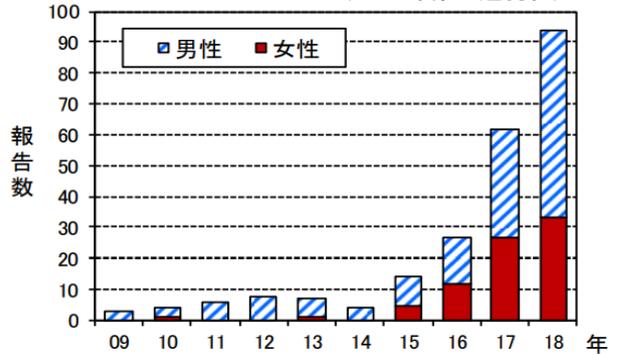
1件の報告があり、今年の累計は9件となりました。風しんは、発熱、発しん、リンパ節の腫れを特徴とするウイルス性感染症です。妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群を発症することがあるため、注意が必要です。

3. インフルエンザ

定点医療機関から19人(定点当たり0.51人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。

梅毒の年間報告数の推移

(2018年第42週現在)



【参考】梅毒に関するQ&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
												急増減	増減	
フィリ	インフルエンザ	19	0.51	0.08	↑	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.68		急増減	↑	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.37	↘	眼科	RSウイルス感染症	11	0.46	1.07		増減	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	2.58	1.58	↘		急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	106	4.42	4.39	↔	基幹	流行性角結膜炎	6	0.75	0.68		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	5	0.21	0.43			細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。		
	手足口病	43	1.79	1.03	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.06		インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.11			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23			小児科定点数	24
	突発性発しん	10	0.42	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数	8	
	ヘルパンギーナ	9	0.38	0.22			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		基幹定点数	7	

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	105	男性(60歳代)、女性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	9	男性(50歳代)・推定感染地域: 国外
5	梅毒	3	94	男性(20歳代)、男性(30歳代)、男性(50歳代)
5	百日咳	3	52	女性(10歳未満)、男性(10歳代)、女性(40歳代)
5	風しん	1	9	女性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	丘疹	2	男	2018/09/05	咽頭拭い液	ハレコウイルス3型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 濾胞性瞼結膜炎 眼瞼腫脹	25	男	2018/08/27	結膜擦過物	アデノウイルス56型
無菌性髄膜炎	発熱 髄膜炎 項部硬直 頭痛	12	男	2018/09/04	糞便	エコーウイルス11型
その他の呼吸器疾患	気管支炎	2	女	2018/09/09	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の消化器疾患	嘔吐	0	男	2018/09/06	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.5)	0	女	2018/09/11	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載